

福祉ふれあいまつり(三世代間の交流)



【滝ノ水学区】

■世帯数：2,982 世帯

■人 □：8,492 人

■面 積：1.038 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

滝の水小学校体育館にて、高齢者、成人、子どもと一緒に遊び、交流する「ふれあいまつり」を開催。延べ約 600 人が参加する。

- ① 昔からの遊び：お手玉、おはじき、こま回し等
- ② 作って遊ぼう：折り紙、クラフトヒコーキ等
- ③ チャレンジしよう：輪投げ、ラダーゲッター等
- ④ 福祉体験：点字、手話、高齢者体験、車いす体験等
- ⑤ ホットコーナーでは、つくたてのお餅を味わった。

【住民へのPR方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、学区福祉だよりを小学校全児童へ配布

【アピールポイント】

遊びを通して福祉への関心を育む。地域住民の世代を越えた交流が、次世代の地域住民の育成につながる。

2 きっかけ、背景

平成 2 年 4 月に滝ノ水学区が誕生して以来、住宅地として急速に発展し、人口も増加の一途をたどってきた。学区では、住民の交流と融和を目的として運動会、敬老会、夏祭り等を行っていたが、平成 6 年度からは、老人・成人・子どもの三世代のふれあい交流を図ろうと「福祉ふれあいまつり」を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

福祉推進協議会、区政協力委員会、民生委員児童委員協議会、PTA、子ども会、老人クラブ、学童保育所、福祉推進協議会ボランティアの会員 計 100 人

(2) 他団体との協力

緑区社会福祉協議会、滝ノ水小学校、滝ノ水中学校

(3) 運営協力

毎年度 4 月に福祉推進協議会ボランティアの募集をしている。

4 実施のスケジュール

H23 年 9 月 実施プラン作成、福祉推進協議会による検討会議

11 月 実施プランに沿って細部検討

12 月 プランに基づき準備、協力団体との調整、タイムスケジュールの作成

H24 年 1 月 連絡協議会を通じて広報（チラシ回覧・ポスター掲示）、PTA・子ども会・小学校児童・シニアクラブへ広報配布

2 月 ふれあいまつり実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- 参加者の増加、住民間の交流が深まった。シニアクラブの皆さんが昔の遊びを熱心に教えられた。

(2) 苦労した点

- 参加者の確保と活動の担い手が不足していること。
- 2 月開催で寒い時期なので、当日の天候が心配であった。

(3) 今後の課題・展望

- 活動の継続、担い手の世代交代、活動資金の確保、他団体との協力。開催日の変更も今後の課題。

(4) メッセージ・アドバイス

- シニアクラブの会員、小学校 PTA 会父兄に、事業への積極的参画および伝承遊びの指導（竹馬乗り、手作り模型の製作、折り紙遊び等）をお願いする。

